

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年2月12日
【四半期会計期間】	第57期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	扶桑化学工業株式会社
【英訳名】	FUSO CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 赤澤 良太
【本店の所在の場所】	大阪府中央区高麗橋四丁目3番10号
【電話番号】	06-6203-4771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 武川 隆彦
【最寄りの連絡場所】	大阪府中央区高麗橋四丁目3番10号
【電話番号】	06-6203-4771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 武川 隆彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第3四半期 連結累計期間	第57期 第3四半期 連結累計期間	第56期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	20,793,606	22,052,460	27,355,263
経常利益(千円)	2,720,419	2,632,265	3,231,723
四半期(当期)純利益(千円)	1,655,897	1,599,931	1,903,668
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,989,395	2,603,562	2,875,955
純資産額(千円)	22,519,317	25,814,762	23,404,086
総資産額(千円)	33,065,134	35,429,859	33,783,793
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	262.79	253.91	302.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	67.98	72.74	69.15
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,953,207	1,154,780	4,266,589
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	477,391	1,024,425	322,023
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,902,216	1,624,715	3,637,296
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,702,259	3,275,629	4,606,035

回次	第56期 第3四半期 連結会計期間	第57期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	95.18	122.42

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および連結子会社8社)が行っている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクの内容について、重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものです。

#### （1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府による経済・金融対策や日銀の大規模金融緩和の効果により、円高是正が進み輸出環境が改善するとともに、株価上昇により個人消費も緩やかに増加するなど景気回復の動きに広がりが見られました。一方、世界経済は、中国の景気減速傾向は見られるものの、欧州では債務問題の対策により景気の持ち直しが見られる他、米国では景気回復基調が続くなど、総じて緩やかな回復傾向を維持しました。

このような状況のもとで、当社グループは、国内外の拠点間のネットワークを活かした販売活動の強化や顧客のニーズに合わせた商品開発に努めた結果、売上高は増加しましたが、原料の高騰や円安によるコストの増加をカバーするには至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は220億52百万円（前年同期比6.1%増、12億58百万円増）となりましたが、営業利益は25億91百万円（同6.5%減、1億81百万円減）、経常利益は26億32百万円（同3.2%減、88百万円減）、四半期純利益は、15億99百万円（同3.4%減、55百万円減）となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

#### （ライフサイエンス事業）

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が153億53百万円（前年同期比8.8%増、12億46百万円増）、営業利益は17億92百万円（同9.9%減、1億96百万円減）となりました。

国内においては、リンゴ酸、クエン酸をはじめとした果実酸類の拡販、復興需要による工業向け製品の販売増、および主要原料価格上昇に対応した販売価格改定に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。また、海外の連結子会社においては、中国の連結子会社である青島扶桑精製加工有限公司の中国国内販売が堅調だったことに加え、円安効果も加わり、円換算後の売上高は増加しました。一方、営業利益は原料価格の上昇や輸入仕入価格の円安による影響を受け、前年同期比で減少しました。

#### （電子材料および機能性化学品事業）

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が66億99百万円（前年同期比0.2%増、12百万円増）、営業利益は13億36百万円（同0.2%増、2百万円増）となりました。

主力製品である超高純度コロイダルシリカ関連では、ナノパウダー等の新製品の販売や輸出における円安効果などの増加要因により、売上高・営業利益ともに前年同期比では微増となりました。

#### （2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16億46百万円増加し、354億29百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加と円安の影響を受け在外子会社の円換算額が増加したためです。

負債については、前連結会計年度末に比べ7億64百万円減少し、96億15百万円となりました。これは主に、借入金の返済によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ24億10百万円増加し、258億14百万円となりました。これは主に、利益剰余金と為替換算調整勘定が増加したためです。

( 3 ) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益により取得した資金を長期借入金の返済に充てた結果、前連結会計年度末に比べ13億30百万円減少し、32億75百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

営業活動の結果取得した資金は11億54百万円(前年同期は29億53百万円の取得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の発生および仕入債務が増加したためです。

( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

投資活動の結果使用した資金は10億24百万円(前年同期は4億77百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産を取得したためです。

( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

財務活動の結果使用した資金は16億24百万円(前年同期は29億2百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済を行ったためです。

( 4 ) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

( 5 ) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の総額は3億42百万円です。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,000,000
計	19,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,302,200	6,302,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	6,302,200	6,302,200	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減 額(千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	6,302,200	-	1,180,367	-	1,667,042

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

## 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,299,700	62,997	-
単元未満株式	普通株式 1,400	-	-
発行済株式総数	6,302,200	-	-
総株主の議決権	-	62,997	-

## 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
扶桑化学工業株式会社	大阪市中央区高麗橋 四丁目3番10号	1,100	-	1,100	0.02
計	-	1,100	-	1,100	0.02

(注) 当第3四半期会計期間末の自己株式数は1,224株です。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しています。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,606,035	3,275,629
受取手形及び売掛金	<sup>1</sup> 7,198,458	<sup>1</sup> 8,203,218
商品及び製品	5,459,379	6,378,808
仕掛品	250,110	245,038
原材料及び貯蔵品	1,115,043	1,225,773
繰延税金資産	432,125	429,587
その他	257,316	306,290
貸倒引当金	5,387	5,307
流動資産合計	19,313,081	20,059,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,532,823	6,386,791
機械装置及び運搬具(純額)	2,420,116	3,316,503
土地	3,052,785	3,060,412
建設仮勘定	150,739	421,623
その他(純額)	414,503	464,708
有形固定資産合計	12,570,968	13,650,039
無形固定資産	386,563	370,243
投資その他の資産		
投資有価証券	693,302	777,699
長期前払費用	180,656	25,680
繰延税金資産	341,956	266,904
その他	421,990	418,953
貸倒引当金	124,727	138,700
投資その他の資産合計	1,513,178	1,350,537
固定資産合計	14,470,711	15,370,820
資産合計	33,783,793	35,429,859



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	<sup>1</sup> 1,282,029	<sup>1</sup> 1,810,608
短期借入金	3,047,900	2,715,250
未払金	894,539	1,685,916
未払法人税等	776,586	212,886
賞与引当金	312,346	170,906
役員賞与引当金	40,000	30,000
関係会社損失引当金	-	99,222
その他	616,344	516,437
流動負債合計	6,969,746	7,241,228
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,974,150	878,600
繰延税金負債	119,335	133,822
退職給付引当金	1,157,283	1,201,387
資産除去債務	9,417	9,417
その他	149,772	150,640
固定負債合計	3,409,960	2,373,868
負債合計	10,379,707	9,615,097
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,180,367	1,180,367
資本剰余金	1,667,042	1,667,042
利益剰余金	19,908,385	21,316,011
自己株式	2,840	3,019
株主資本合計	22,752,954	24,160,401
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	228,662	284,170
繰延ヘッジ損益	-	9,144
為替換算調整勘定	380,015	1,316,052
その他の包括利益累計額合計	608,678	1,609,367
少数株主持分	42,452	44,993
純資産合計	23,404,086	25,814,762
負債純資産合計	33,783,793	35,429,859

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	20,793,606	22,052,460
売上原価	12,628,278	14,111,968
売上総利益	8,165,327	7,940,491
販売費及び一般管理費	5,393,207	5,349,416
営業利益	2,772,119	2,591,074
営業外収益		
受取利息	13,208	6,413
受取配当金	16,817	17,049
受取手数料	9,176	11,869
為替差益	-	35,983
その他	21,070	21,936
営業外収益合計	60,273	93,252
営業外費用		
支払利息	87,850	48,443
為替差損	11,975	-
その他	12,148	3,618
営業外費用合計	111,974	52,061
経常利益	2,720,419	2,632,265
特別利益		
固定資産売却益	400	3,296
補助金収入	-	9,114
特別利益合計	400	12,410
特別損失		
固定資産除却損	5,756	19,571
投資有価証券評価損	5,706	5,779
関係会社損失引当金繰入額	-	99,222
課徴金	<sup>1</sup> 53,552	-
特別損失合計	65,015	124,572
税金等調整前四半期純利益	2,655,804	2,520,103
法人税、住民税及び事業税	983,463	874,602
法人税等調整額	15,653	42,627
法人税等合計	999,116	917,230
少数株主損益調整前四半期純利益	1,656,687	1,602,873
少数株主利益	789	2,941
四半期純利益	1,655,897	1,599,931

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,656,687	1,602,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,623	55,507
繰延ヘッジ損益	-	9,144
為替換算調整勘定	317,084	936,036
その他の包括利益合計	332,708	1,000,688
四半期包括利益	1,989,395	2,603,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,988,606	2,600,620
少数株主に係る四半期包括利益	789	2,941

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,655,804	2,520,103
減価償却費	1,206,855	1,250,324
のれん償却額	9,047	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	10,167	522
賞与引当金の増減額(は減少)	114,099	144,891
役員賞与引当金の増減額(は減少)	10,000	10,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	51,920	60,688
関係会社損失引当金の増減額(は減少)	-	99,222
受取利息及び受取配当金	30,026	23,462
支払利息	87,850	48,443
為替差損益(は益)	6,325	17,705
固定資産売却損益(は益)	400	3,296
固定資産除却損	5,756	19,571
投資有価証券評価損益(は益)	5,706	5,779
売上債権の増減額(は増加)	102,091	828,077
たな卸資産の増減額(は増加)	32,475	718,991
仕入債務の増減額(は減少)	159,802	476,084
未払金の増減額(は減少)	64,775	1,123
長期未払金の増減額(は減少)	-	2,790
その他	85,014	152,525
小計	3,428,098	2,612,242
利息及び配当金の受取額	27,196	23,235
利息の支払額	83,140	47,568
法人税等の支払額	418,947	1,433,129
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,953,207	1,154,780
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	65,118	-
有形固定資産の取得による支出	499,132	981,170
有形固定資産の売却による収入	708	3,296
無形固定資産の取得による支出	24,516	33,002
投資有価証券の取得による支出	4,380	4,501
短期貸付金の回収による収入	-	8,978
長期貸付けによる支出	150	-
長期貸付金の回収による収入	8,457	359
その他	23,496	18,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	477,391	1,024,425
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	779,100
長期借入金の返済による支出	2,705,200	2,207,300
自己株式の取得による支出	-	178
配当金の支払額	188,673	188,074
少数株主への配当金の支払額	400	400
リース債務の返済による支出	7,943	7,861
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,902,216	1,624,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	71,370	163,954
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	355,030	1,330,405
現金及び現金同等物の期首残高	4,057,290	4,606,035

現金及び現金同等物の四半期末残高	1	3,702,259	1	3,275,629
------------------	---	-----------	---	-----------

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間において、重要な変更はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(関係会社損失引当金)

平成26年2月3日付で、連結子会社である株式会社エックスワンの株式を一部譲渡することに伴って発生する損失に備えるため、関係会社損失引当金を設定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は99百万円減少しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれています。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	214,065千円	150,635千円
支払手形	1,167	8,564

(四半期連結損益計算書関係)

1 課徴金

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

中国において法令に関する認識の相違により課せられたものです。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	3,702,259千円	3,275,629千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	3,702,259	3,275,629

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	94,516	15	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金
平成24年11月1日 取締役会	普通株式	94,516	15	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	94,515	15	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金
平成25年11月5日 取締役会	普通株式	94,515	15	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,106,352	6,687,254	20,793,606	-	20,793,606
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,606	1,794	15,400	15,400	-
計	14,119,958	6,689,048	20,809,007	15,400	20,793,606
セグメント利益	1,989,073	1,333,153	3,322,226	550,106	2,772,119

(注)1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用562,046千円、その他11,939千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,353,142	6,699,318	22,052,460	-	22,052,460
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,738	102	13,841	13,841	-
計	15,366,880	6,699,420	22,066,301	13,841	22,052,460
セグメント利益	1,792,862	1,336,121	3,128,984	537,910	2,591,074

(注)1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用555,353千円、その他17,442千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	262円79銭	253円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,655,897	1,599,931
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,655,897	1,599,931
普通株式の期中平均株式数(株)	6,301,114	6,301,035

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

(関係会社株式の一部譲渡)

1. 関係会社株式譲渡の概要

関係会社の名称  
 株式会社エクスワン(以下、「エクスワン」)

関係会社の事業内容  
 化粧品・健康食品の会員制無店舗販売

譲渡を行った主な理由

エクスワンは、平成20年7月から当社の連結子会社として化粧品・健康食品の会員制無店舗販売事業を展開してきましたが、当社グループ全体で事業の選択と集中を進める中、同社の経営権を譲渡することに至りました。

譲渡日  
 平成26年2月3日

法的形式を含むその他取引の概要に関する事項  
 受取対価を現金等の財産のみとする事業譲渡

2. 実施した会計処理の概要

関係会社株式を譲渡するに当たり、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき会計処理をする予定です。

当該関係会社の株式を一部譲渡することに伴って発生する損失に備えるため、関係会社損失引当金を設定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は99百万円減少しております。

3. 譲渡した事業が含まれていた報告セグメント

ライフサイエンス事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている譲渡した事業に係る損益の概算額

売上高 1,374,550千円  
 営業利益 54,865千円

## 2【その他】

平成25年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....94,515千円

(ロ) 1株当たりの金額.....15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月10日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 2月12日

扶桑化学工業株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 井上 正彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 上田 美穂 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている扶桑化学工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、扶桑化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。